

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービスえん		令和 8年 3月 19日				
		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点	
		はい	いいえ			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	事業所の部屋を最大限に活用している。	運動やレクリエーションの時には、もう少しスペースが欲しいので体育館やレンタルスペースも活用していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	人員確保の為、各支援者にシフト調節に協力してもらっている。	最大限の人員は確保しているが、送迎や個別対応が必要な時などの事も考えたらもう少し人員を確保したい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	子供にも分かり易いように視覚支援している。	事業所内は、子供にわかりやすく構造化された環境になっているが、もう少しバリアフリーに出来る様に大家さんに相談してみる。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	毎日掃除と消毒を行い換気に配慮している。	こどもたちが、心地よく過ごせるように、設備を整えていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	認めている。	個別で過ごしたい子がいる時には、出来るだけ静かな環境を作る。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	支援者全員参加している。	目標を達成する為の業務改善をしていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	支援者会議を行い評価表の結果について話し合っている。	もう少し、保護者の方々に事業所としての発信していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	会議で話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7	第三者による外部評価は、行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	2	確保している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0		もう少し計画書作成に時間をかけて取り組みたい。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0		時間がない時には、児童発達支援管理責任者の考えが中心になってしまっているので改善したい。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	共有している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		アセスメントの仕方を見直してみる。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0		具体的な支援内容になっているのか、見直していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	支援者全員に良いプログラムがあれば提案してもらおう機会をもうけている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	支援終了後に行えない場合もあるが、メモを残してもらい次の日の支援前の打ち合わせに振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	記録を残している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	2	行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加するようにしている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		もう少し連携出来るようにしたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3		相談員頼みになっているので、連携できるか検討してみる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	相談員に提供している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		連携不足なので、改善していく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	3	交流を試みた時期もありましたが、課題が多く現在はまぼ行っていない。	受け入れ先に理解を求める必要がある事と本当に保護者の方が、それを求めているのかを検討する必要がある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	2		今年度はあまり参加できなかったため、新年度は参加できる時間を作る努力をしていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	2		もう少し保護者の方との会話を大事にしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	あまりできていない。	新年度は、保護者の方に研修に参加できる機会を情報提供していきたい。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	2	契約時に行っている。	契約時以外にも定期的に説明できるように検討していく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	すべての意見に対しては、出来ていないが、こどもと保護者の方の意見を尊重するようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	5	保護者会は必要ないと以前にご意見をいただいた事があるので行っていない。	保護者の方の研修の機会の提供はしていきたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情には、迅速に対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	2	発信が滞っている。	なかなか余裕がなく行えていないが、配信日を決めるなどして再開したい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	十分気を付けている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	苦情がありおこなえていない。	行う方法を検討していく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	訓練を行っている。	訓練の様子を保護者の方に伝えていく。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	行っている。	訓練の様子を保護者の方に伝えていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	保護者から確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	食物アレルギーのある子どもは利用していない。	食物アレルギーの子どもが、利用になった場合は、担当医師の指示書に基づく対応をしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	行われている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	3	周知不足	もう少し保護者の方々に安全計画を周知していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	対応している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2	会議で話し合っている。		